

**CENTRAL** 中央自動車工業株式会社

2021年度上半期

# 決算ハイライト

- 2021年度上半期決算の概要 … 1～4p
- 2021年度上半期の開発型企业としての施策 … 5～9p
- 2021年度通期の目標 … 10～13p

## 2021年9月／連結決算の概況(2021年4月1日～2021年9月30日)

### ●連結子会社及び持分法適用関連会社

(※自己株式を除く)

連結対象会社		資本金	持株比率
イ.連結子会社 4社	セントラル自動車工業(株)	50百万円	76.3%
	CAPCO PTE LTD(シンガポール)	37百万円(50万SDル)	100.0%
	CAPCO USA, INC.(米国)	90百万円(80万3千米ドル)	100.0%
	(株)ABT	10百万円	100.0%
ロ.持分法適用関連会社 2社	(株)石川トヨペットカローラ	195百万円	42.7%
	エイスインターナショナルトレード(株)	30百万円	39.2%

### ●全社の業績

単位:百万円(要約)

	2021年上半期予算	2021年上半期実績	予算達成率(%)	2020年上半期実績	対前年増減	対前年比(%)
売上高	14,200	14,380	101	11,980	2,400	120
荒利益	5,900	5,900	100	5,030	870	117
販売費及び一般管理費	3,100	2,860	92	3,080	△220	93
営業利益	2,800	3,040(21.2%)	109	1,950(16.3%)	1,090	156
経常利益	3,100	3,370(23.4%)	109	2,260(18.8%)	1,110	149
親会社株主に帰属する中間純利益	2,100	2,290(16.0%)	109	1,470(12.3%)	820	156

※( )内は売上比率

### ●事業の種類別セグメント／販売実績

		2021年上半期(構成比%)	2020年上半期(構成比%)	対前年増減	対前年比(%)
自動車部品・用品等販売事業		11,850(82)	9,660(80)	2,190	123
うち	国内販売	7,740(54)	6,710(55)	1,030	115
	海外販売	4,110(28)	2,950(25)	1,160	140
自動車処分事業		2,530(18)	2,320(20)	210	109
計		14,380(100)	11,980(100)	2,400	120

# 連結純利益

単位:百万円(切捨て)

	2021年上半期	売上比(%)	2020年上半期	売上比(%)	前年比増減	伸び率(%)
経常利益	3,367	23.4	2,257	18.8	1,110	149
特別利益	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	116	1.0	△116	—
税金等調整前中間純利益	3,367	23.4	2,141	17.9	1,225	157
法人税等	1,072	7.5	673	5.6	399	159
非支配株主に帰属する中間純利益	△0	0.0	0	0.0	△0	—
親会社株主に帰属する中間純利益	2,295	16.0	1,468	12.3	827	156
1株当たり中間純利益	125円 <sup>21</sup> 銭	—	80円 <sup>21</sup> 銭	—	45円	156

## ■連結貸借対照表

	2021年上半期	2021年3月期	前年比増減
総資産	41,086	39,386	1,700
純資産	35,402	33,536	1,865
自己資本比率(%)	86.1	85.1	1.0
1株当たり純資産(円)	1,928.74	1,828.71	100.03

# 連結上半期キャッシュ・フロー計算書の概要(2021年4月1日~2021年9月30日)

単位:百万円(切捨て)

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益①		3,367
非資金費用等	減価償却費	109
	のれん償却額	190
	退職給付に係る負債(退職給付引当金)の増加額	△29
	持分法による投資損益(△は利益)	△234
	非資金費用等による資金調達②	36
営業活動による資金	受取利息及び受取配当金	△64
	売上債権の減少額	876
	たな卸資産の増加額	△565
	仕入債務の増加額	107
	未払金の減少額	△34
	未払費用の減少額	△190
	その他	44
営業活動による資金調達③	174	
小計(①+②+③)		3,577
その他	利息及び配当金の受取額	109
	法人税等の支払額	△1,022
	その他による資金調達④	△913
(A) 営業活動によるキャッシュ・フロー(①+②+③+④)		2,664

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動	定期預金の預入による支出	△224
	定期預金の払戻による収入	24
	投資有価証券の取得による支出	△527
	投資不動産の賃貸による収入	25
	有形固定資産の取得による支出	△175
	無形固定資産の取得による支出	△19
	その他	△4
(B) 投資活動によるキャッシュ・フロー		△900

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動	配当金の支払額	△589
	その他	60
(C) 財務活動によるキャッシュ・フロー		△529

(D) 現金及び現金同等物に係る換算差額 1

現金及び預金の増減額(△は、減少額)(A+B+C+D)	1,236
現金及び預金の期首残高	(注) 11,265
定期預金の増加額	200
現金及び預金の期末残高	(注) 12,701

(注) 現金及び預金の期首残高には3ヶ月超の定期預金800百万円を含み、  
期末残高には3ヶ月超の定期預金1,000百万円を含む

# 配当金について

- 配当政策を経営上の重要課題としている当社と致しましては、環境の変化が激しい中でも開発型企业として経営の維持・発展に努め、株主の皆様には「安定かつ高配当」を継続して参りたく存じます。
- 以上の観点から、第1四半期発表時の予想では、中間配当金は一株当たり32円でありましたが、昨年比6円増配の34円とさせて頂き、期末配当予想の32円と合わせて、年間配当金を昨年比6円増配の66円とさせて頂きたいと存じます。

## ■ 配当金の推移

単位:円

	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 (案)
中間配当 1株当たり	8.5	10.0	10.0	13.0	13.0	13.0	13.0	16.0	19.0	22.0	28.0	28.0	34.0
期末配当 1株当たり	11.5	10.0	13.0	13.0	14.0	14.0	※ 20.0 (記念配当3.0円)	19.0	22.0	28.0	28.0	32.0	32.0 (案)
年間配当 1株当たり	20.0	20.0	23.0	26.0	27.0	27.0	※ 33.0 (記念配当3.0円)	35.0	41.0	50.0	56.0	60.0	66.0 (案)
配当性向	31.5%	29.8%	33.4%	31.7%	32.2%	34.4%	35.7%	29.8%	30.5%	29.8%	26.2%	29.8%	30.4% (案)

(注) ① ※2016年3月期の期末配当金のうち3.0円は、70周年記念配当であります。 ②2022年3月期の「期末」「年間」「配当性向」数値は案。 ③配当性向は、単体ベースで計算。



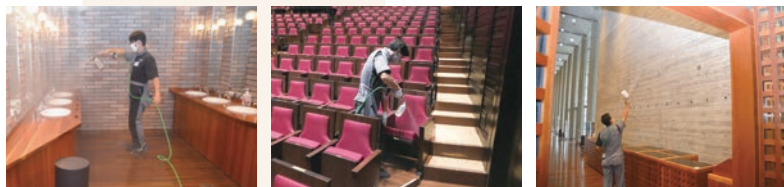
2021年度上半期  
開発型企业としての施策



▲ボディコーティングプレミアムシリーズ。  
左から「CPCボディアーマー マキシム」、「CPCスーパープレミアムコーティング エクスG」、「CPCプレミアムコーティング ダブルG」。



▲新型コロナウイルスへの効果も検証・確認したC.A.W抗菌・防臭チタニア。



▲抗菌・抗ウイルスニーズの高まりから、公共施設や劇場など、幅広くC.A.W抗菌・防臭チタニアを施工。



▲2020年度に発売した新製品  
「シート(ファブリック、レザー)コート」、「樹脂コート」。



▲チタニア&ファブリックコーティングが、  
日刊自動車新聞、用品大賞2021  
「ウイルス対策用品部門賞」を受賞。

34th 日刊自動車新聞 **大賞**  
**用品 2021**

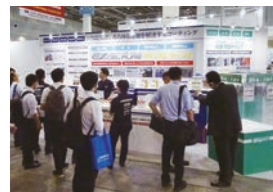
## 2021年度上半期 開発型企業としての施策／1

# 国内での営業活動

国内部門では、コロナ禍の反動による受注台数の増加と自動車メーカー各社の減産等による納車の長期化により市場が混迷するなか、感染防止対策の徹底と地域密着型営業の推進を一層強化し、新商品および高付加価値商材の更なる拡販と異業種を含めた新規開拓に努めました。



▲感染対策を行いながら「関西物流展」、「コーティングジャパン」、「クリーンビジネスフォーラム」等に出展。



▲研究開発施設「中之島R&Dセンター」。



◀アルコール検知器「ソシアック」シリーズ。



▲白ナンバーの業務車両にもアルコール検知器の使用が義務化される法改正の動き。



協力会社/韓国CTR

現地法人/デトロイト

本社/日本

現地法人/広州

海外事業所/台北

現地法人/マニラ

現地法人/ホーチミン

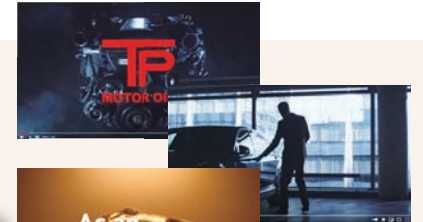
海外事業所/ヤンゴン

現地法人/ドバイ

現地法人/クアラルンプール

現地法人/シンガポール

海外事業所/ジャカルタ



▲プロモーション動画でも紹介。

◀メーカーのリーフレット、特設ホームページ。

▲メーカーブランドオイルを生産・提供。

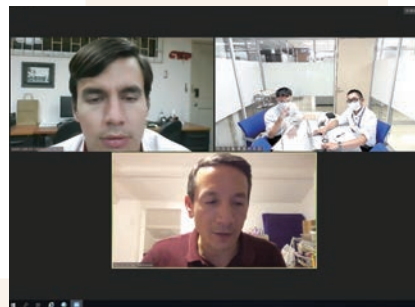


## 2021年度上半期 開発型企業としての施策/2

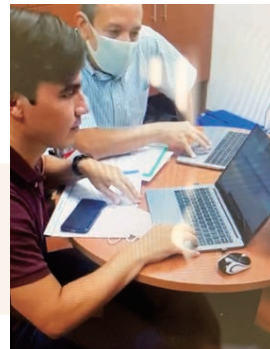
# 海外での営業活動



海外部門では、地域による差があるものの、経済活動の再開による補修需要の回復がみられるなか、オンラインの活用や現地拠点との連携により、市場需要の取り込みと新規提案活動に努めました。また、依然としてコンテナ船不足等による物流の混乱が続きましたが、仕入先や船会社との連携を密にし、供給体制の確保を図りました。



▲オンラインを活用した営業活動を実行。



▲感染対策を徹底しての現地での営業活動。



▶PB部品(J.C.A.P.)を拡販。





▲CPCブランドの生産工場  
「セントラル自動車工業株式会社」



### 2021年度上半期 開発型企業としての施策 / 3

# 関連会社の状況

セントラル自動車工業株式会社は、主力商品であるCPCブランド商材の増産、新商品・新規ブランド商材の量産化により生産量が増大しましたが、生産設備の増設、生産人員の増員により迅速に対応いたしました。株式会社ABTは、長期化する新型コロナウイルスの影響による交通量の減少や安全装置の普及による事故件数の減少から、取扱台数は前年並みの低水準に留まりましたが、鉄スクラップ価格の高騰やオークション市場の活況などを受け、売上高の拡大に向けた効率的かつ安定した事業運営に努めました。



▲昨年12月に完全子会社になった「株式会社ABT」。



▲「株式会社ABT」のホームページ。



# 社会貢献活動の一例

弊社では自動車業界に身を置く者の責務として、交通事故を1件でも無くしたいとの思いからアルコール検知器「ソシアック」を開発。また「社会に貢献する」との企業理念のもと、様々なCSR活動を実践・継続しています。

## 交通事故被害者への援助

- (財)交通遺児等育成基金に、会社及び社員の善意金を寄付。
- またソシアックの売上収益の一部寄付を継続中。



## 感染症予防対策への援助

- 事業所を構える11自治体に、新型コロナウイルス感染症の予防対策支援金を寄付。



## その他、啓蒙活動や教育活動、スポーツ活動への協力

- FMラジオ局の飲酒運転防止活動への協賛。
- 交通安全啓蒙映画等への協賛。
- 財団法人全日本交通安全協会へ、交通安全教育用としてソシアックを寄贈。
- 全国マスコミへの取材協力、各種シンポジウムへの協力。
- 財団法人アジア福祉教育財団への継続的な寄付。
- JPA日本パラ陸上競技連盟へのオフィシャルパートナーとして協賛。



※「健康経営優良法人2021」に認定されました。今後も、環境・社会への貢献、社員の健康管理への取り組みを継続してまいります。



# 2021年度通期の目標

---

## ( 企業理念 )

---

世界のネットワークを通じて環境にやさしく、  
安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。

---

---

## ( 基本方針 )

---

1. お客様の潜在ニーズを読み、期待を上回る新しい商品・サービスの開発を通じて需要を創造します。
  2. 全てのお客様・お取引先様への感謝の念を忘れず、徹底したサービス体制を通じて、信頼とお役に立つ中央を目指します。
  3. 役員・社員の能力と生活向上を通じて、社会的責任を果たす開発型企業を目指し、株主様には安定かつ高配当を継続いたします。
- 

---

## ( 基本戦略 )

---

1. 常に技術革新を追究し、お客様に感動頂けるオンリーワンの「開発型企業」を目指します。
  2. 経営資源を当社の強みの部門と、新しい事業開発に投下し将来の礎を築くと共に、開発型企業の基盤を強化します。
  3. 徹底した現場訪問と情報収集の強化をはかり潜在ニーズの先取りをします。
  4. 教育体制の充実と共に役員・社員は自己成長に努めます。
-

# ESGの取り組み



## 交通事故被害者への援助、啓蒙活動への協賛

(財)交通遺児等育成基金に、会社及び社員の善意金を寄付。同基金へのソシアックの売上収益の一部寄付や、ラジオ局の飲酒運転防止活動への協賛を継続。



## 啓蒙活動、スポーツ活動への協力

財団法人アジア福祉教育財団への継続的な寄付。JPA日本パラ陸上競技連盟へのオフィシャルパートナーとしての協賛を継続。



## 健康経営への取り組み

従業員の心身の健康を重要な経営課題と捉え、2020年度より健康経営の取組みを実施。  
※「健康経営優良法人2021」に認定されました。



## パートナーシップ構築宣言に参画

「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」における、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者との連携・共存共栄を進めるという趣旨に賛同し、パートナーシップ構築宣言に参画。



## ダイバーシティの推進

個々人の多様性と創造性を積極的に活用できるよう、海外現地法人において、現地スタッフの採用や企業全体として女性管理職の登用を推進。



## ISO14001、9001の認定を取得、活動を継続

ISOへの取組みのため、「電気使用量の確認と節電にむけた対策」「紙類リサイクルの徹底」「営業車のHV化」等の活動を継続実施。



FS 543170 / ISO 9001  
EMS 543169 / ISO 14001  
本社 国内支社・営業所



## ボディコーティングの販売による環境負担の軽減

当社開発商品である各種コーティングを販売することにより、洗車回数の削減やカーシャンプー使用頻度の低下による水質保全に繋げる。



## アルコール検知器のパッケージ紙素材使用

当社開発商品であるアルコール検知器の梱包は全て紙素材を活用し、プラスチックごみによる海洋汚染問題への対策に対応。



## 人と環境に優しい製品開発

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR制度) 等、各種法令に配慮した、人と環境にやさしい製品開発を推進。常に最新の安全データシート (SDS) をHPより提供。



## コーティング製造工場における廃液排出ゼロの取組み

関連子会社のセントラル自動車工業株式会社における製造過程での廃液排出をゼロにすることにより、周辺環境への影響を無くし、環境汚染等を防ぐ取組みを推進。



### 2021年度の方針

社会貢献を目的とし、ESG・SDGsへの取り組みを強化

環境へ配慮した施設として、新たな事業所を開設

社員の健康・安全・労働管理への投資を継続

人材教育の強化と更なる福利厚生の実施 (ES向上)

## 2021年度通期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益	配当予想
2021年度通期目標	29,500(107%)	6,100(113%) ※売上比 20.7%	6,700(112%) ※売上比 22.7%	4,500(116%) ※売上比 15.3%	245円 61銭	第2四半期末 34円 期末 32円 合計 66円 配当性向30.4%(単体)
2020年度通期実績	27,570(106%)	5,400(108%) ※売上比 19.6%	6,000(112%) ※売上比 21.8%	3,860(99%) ※売上比 14.0%	211円 1銭	

( )内%表示は、2021年度通期が対2020年度通期、2020年度通期が対2019年度通期伸率。

今後のわが国経済は、米国や中国等の一部地域の景気回復傾向や新型コロナウイルスのワクチン接種の普及や治療薬の開発により経済活動が活発となることが期待されるものの、欧州やASEANでの感染再拡大や半導体をはじめとする部品の供給体制の不安により、先行き予断を許しません。国内の新車販売市場においても、自動車メーカー各社の生産調整等により、厳しい状況が続くことが見込まれ、市場動向への適切な対応が必要となっております。

こうした状況下、当社グループは、変動する社会や市場環境を慎重に見極め、中之島R&Dセンターを活用した新たな高付加価値商材の開発や

ブランディング戦略による当社商品の市場浸透を図るなど、新商材・新ビジネスの販路拡大を地域密着型営業のもと推進してまいります。

また、連結子会社を含めたグループ全体の連携を一層強化し、新しいビジネスモデルの展開やM&Aおよび新規事業への投資など

企業価値の向上に積極的に取り組んでまいります。

そして、グループ企業の持続的発展を志向し、SDGsやESGへの取り組みの推進を一層強化するとともに、

当社の将来を担う中核人材の育成および専門人材の拡充による営業力・組織力の向上を最重点課題として取り組み、

潜在ニーズから新たな需要を創造し、社会に貢献できる開発型企業として株主の皆様のご期待にお応えする所存でございます。

何卒一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。